

1989.7.30

1989.7.30

## サラム・サラム(2) 鄭 鴻 永 氏



これまで続けて来た「人物朝鮮史」を一時中断し、前々号から「サラム・サラム」という新しいコーナーを設けた。これは現在市井で活躍されている朝鮮史研究者のその人となりにスポットを当て、研究に対する情熱や苦労話等を通して、同じ研究を続ける者に大いなる刺激を与えて頂ければと思う。

今回は私と同じ宝塚に住み、宝塚の在日の歴史を掘り起す作業を続けながら、西宮市甲陽園のトンネル内に「朝鮮國独立」の文字を発見された鄭鴻永氏のお話を聞く為に、むくげの会の連中と共に氏が経営している焼肉店「紅梅苑」に押し掛けた。酒が飲めない氏はジュースを手に、我々はおいしい料理に舌鼓しながら話がはずんだ。その中から私の独断と偏見でその一部を紹介したい。

鄭先生は宝塚の川西航空機社の歴史を勉強するうちに、この辺にトンネルを何箇所か掘つたという話を信頼できる筋から聞き、調べてみると偶然ではあるがあんな形で見つかった。一緒に同行した市職の人も地主も、もちろん私自身も文字が出るとは全く予想しなかつた。

質問||文字を発見された時の気持ちは如何でしたか。

質問||現在「兵庫朝鮮関係研究会」(兵朝研)に所属されて研究されていますが、歴史研究への動機は何ですか。  
鄭先生||宝塚で総連の専従を六五年から十一年間程やつていますが、その間は非常な激務で現実問題の対処に時間をとられ歴史の勉強は出来なかつた。その間私が尊敬していた人、可愛がつてくれた人、年寄が次々と亡くなりましたが、その人たちの断片的な話を聞いて関心は持つていきました。その後伊丹の飛行場で働いていた人の話を聞き、その中で働いていた朝鮮人に関する資料を集めようとつい、伊丹市の博物館にその当時の史料がごつそりあり、情報公開の枠が無かつたから随分通つて蒐集しました。「兵朝研」が『兵庫と朝鮮人』を出版するとき、私が「伊丹」のことを書いたのをきっかけに、研究会発足後一年して入会しました。

質問||「兵朝研」は様々な年齢層の集まりで、専門的学者でない人たちがそれぞれの職業を持ちながら「掘り起こし」の作業を続けておられます。頭の柔軟な人が多いようですね。

鄭先生||金慶海さんや洪祥進さんが非常によくまとめています。

一人一人の性格が違うが個人的な特質・持味を出しています。

次の世代に残すものが無かつたり、それをやる人が少ないので、だから頑張つて残そうとしているグループです。在日同胞が在日朝鮮人史の一ページを開くのであって、対立とか干渉しない研究団体として幅広く且つ独立性を持つた自由な会です。

在日朝鮮人の自分の年代から見ると、一世二世三世とそれあり、三世になるとこうした年取つた人の生きざまを受け取つていかない。こうした断絶をうまくバトンタッチして埋めていくことが私たちの一つの役割でしょうね。

質問||聞き書きの対象者は減る一方で蒐集は難しいですね。

鄭先生||研究しているグループがあちこちにありますね。こうした仲間が基礎史料を整理して交換する必要があると思いま

鄭先生||「おどろき」の一言でしたね。その夜仲間に話したが誰も信用してくれなかった。そして一晩中寝られず随分うされていたらしいです。いろんな思いが錯綜しました。一世に近い者の感概としては何とも表現できないものです。

質問||その後の反響は随分ありましたか。

鄭先生||十二月二十日に朝日新聞に発表しましたが決定的な証言者はまだ出ません。強制連行で来た人は殆ど帰国したでしょからね。韓国人交換教授が興味を持たれ『週刊朝鮮』に詳しく出ましたが、文化放送の取材は立ち消えました。こちらで世話をするのが西宮の社会党議員だし、私が総連宝塚支部の専従をしていたとこともあつて尻込みしたようです。

質問||保存運動の進み具合はどうですか。

鄭先生||市は「前向きに検討する」とは言うが、具体的にどうするとは言わない。坪三五〇万円程の高級住宅街ですから、住民の了解をとつたり、トンネルの入口の家を買うのかといった問題もあり、実際保存は難しいかも知れない。しかしあの文字は「朝鮮國独立」です。書いた人の思い、文字の意味するものは何かを考えるとき、大変貴重で残すべきだと思います。そのためには画策していますが公的機関が保存の為に動いて欲しいですね。

質問||故郷はどこですか。いつ日本に来られたのですか。

鄭先生||一九二九年慶尚北道尚州で生まれ、四歳の頃釜山に行き、七歳の時日本に来て、一家全員でこちらに来ました。十六歳の時に解放を迎えました父に呼ばれて一家全員でこちら状態から自分を取り戻すのに一・三年かかりました。

尚州は山奥にあり絹が有名で桑畠が多かつた。みなカイコを飼つていてそのサナギを食べたり桑の葉を食べた記憶が強烈に残っています。

在日朝鮮人の人口表をみると、初期は圧倒的に男人口が多く、父親が一人来て後に家族を呼び寄せたのが分かります。

質問||先生個人としてはこれからどんな勉強をされますか。

鄭先生||戻るところに戻つて、宝塚の朝鮮人部落形成史を完成させたい。ヨンコバ(武庫川河川敷改修工事の第四工事現場)は宝塚にあつて、多くの朝鮮人がここで働き朝鮮人部落を形成した)のように、消えかけていく部落、消えていつた部落を書き書きは今しなければ手遅れになります。

しかしこうした作業は思うようにはいきませんね。だから公的機関には必ず未整理の史料が残つてゐる筈だから、こうした情報を公開するように働きかけなければなりません。政

府機関が情報公開しないからこれを突破しなければならない。日本の大手企業はほんかむりしたまま懲憲無礼に断りますね。政

ん、朝鮮人のことを見ている資料を朝鮮人が堂々ともらいたい、この思いが強いですね。

また総連とか民団とか、南北関係なく強制連行体験者の聞き書きは出来ないものか。独立運動の栄光の歴史とともに、やられた方の歴史も見据えていかなければならないでしょ

ね。

質問||日本人も個人史を書いたり、日記をこまめにつけたり整理したりする人が多いので、こうしたものと一緒に収める場所があれば良いですね。どうも今日はお忙しいときにお邪魔してすみませんでした。お体に注意して今後もますます頑張って下さい。有難うございました。

土曜日の一番忙しい時間だつたので奥さんや娘さんに多大のご迷惑をお掛けし、しかも余りにも安くして頂き感謝にたえました。